

明けましておめでとうございます !

皆様お元気に新しい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

旧年中は大変お世話になり、有難うございました。本年もよろしくお願い致します。

今年の干支は乙未（きのと・ひつじ）です。「乙」という文字はツバメを描いた象形文字だそうです。「上から下へおさえる」という意味があり、植物が伸び出せず、地中で時期が来るまで待っている状態を表しています。また、「未」という文字は行為・経験・状態などが、まだ熟していない事を表すそうです。先行きが見えず、不安な今の時代は、あせって事を進めるのではなく、じっと我慢して、期が熟するまで待つことも大事です。

さて、木材業界は昨年の消費税率引き上げによる駆け込み需要とその反動から住宅着工は下がってきました。公共建築物木造化法による大型物件の増加によりプレカット工場はある程度の仕事は続いているようですが、先行きは不透明です。国は「木材利用ポイント」制度を継続する事で景気対策を続けるようです。

太陽光発電やバイオマス発電の固定価格買取制度の見直しが始まりました。太陽光発電は自然条件に大きく左右される為、需給バランスがとりにくいことから、ベースロード電源としては不向きであるということのようです。一方バイオマス発電は材料の確保が今後の課題となるようです。林業関係者の間では最初から指摘されていましたが、林地残材の賦存量は十分にあるということでスタートしました。搬出経費等を考えると、原材料としての価格がネックになってきそうです。また輸出については、円安の影響で順調に増えています。ただ、選別経費を考えると製材用として市場に出すより輸出した方が良いという安易な意見も聞かれます。国産材を活用していくためには、植林・育林・伐採のサイクルを着実に回していくことが求められます。目先の利益も大事ですが、じっくりと将来を見据えた林業経営に期待したい年ですね。

皆様にとりまして素晴らしい年となりますことを祈念します。

【情報】

かごしま地材地建グループの県内研修が行われます

公共建築物への地域材の利用働きかけの取り組みについて

かごしま木づかい推進事業の活用事例 等の研修

日時 平成27年1月19日(月)～20日(火)

場所 松原なぎさ小学校・ペンション異人館

九州おひさま発電・横川総合支所・フォントナの丘
始良・霧島地区内の事例見学

主催 かごしま地材地建グループ連絡協議会

【定休日】

1月は1, 2, 3, 4, 11, 18, 24, 25, 31日となります

2月は1, 7, 8, 14, 15, 21, 22, 28日となります

宜しくお願いします。



大年初七——人寿年丰 图/冯印源 新华社发